

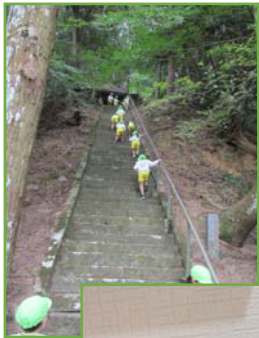


# （素）だより

令和2年11月11日  
東明幼稚園・とうめい保育園  
文責 古賀 俊恵

青く澄みきった空、心地よい風が吹き心も体も晴れ晴れとした日々を過ごす子ども達。園庭では、小さいクラスの子もが、保育士と一緒に自転車を乗り回し、ブランコを押してもらいながら、また、砂場では小さい手を動かしてお団子を作り、スコップで砂を救う仕草をしたりと思い思いの遊びを楽しんでいます。大きいクラスの子も達は、近くの神社までお散歩。拾ってきたどんぐりや落ち葉を使っての制作。

もっと、大きいクラスの子も達は、おにぎりとおやつを持ってバスでお出かけ。園にはない遊具で思いっきり遊び、友達との絆を深め、体を思いっきり動かしたら、おにぎりだけのお弁当を美味しく食べていた子ども達。おにぎりを作ってくれた人を思いながら笑顔一杯の子ども達でした。時には、おにぎりだけのお弁当もいいですね。



## 子どもの目

いつも真正面から、真直ぐに相手を見る目  
いつもあからさまに自分をさらけ出して  
心の隅まで隠すところのない目  
いつも一ぱいに見開いて しっかり物そのものを見詰める目  
いつも新鮮さに冴えて興味心に輝く目  
いつも柔らかいなつかし味をたたえている目  
人の心の明るさを受けて明るく、自らもまた容易に、相手の心の中に溶けていこうとする目  
それよりもなお、なんという清さにすんでいることぞ。  
曇りもなく、濁りもなく、たとえばこの頃の澄んだ空の清さを、そのまま人界に落とし来ったような目  
それが、子どもの目である。

「育ての心より」倉橋惣三著より

私たち保育士は、幼児教育についての学びをすることが多いのですが、その中でいつも言われることは、保育士も、保護者も「子どもと向き合い関わってください」ということが多いです。ゆったりとした気持ちで向かい合い、目を見て語り掛ける。更には、子どもの気持ちを考えながら関わっていくことの大切さを学んでいます。が、それが出来ているかと言うとそうでもないのことが多々あります。どうしても、自分の気持ちを先に優先してしまいます。それでも、私たち大人は、子どもと向き合い関わって子どもを育てなければなりません。園でも、家庭でも子ども達が落ち着いて過ごせるように。



自転車上手く漕げるよ！！稲刈りも上手く出来ました。新米で作ったおにぎり美味しかった！！

遊びは、思いっきり。階段高くて疲れたなあー。

紙のおにぎり、毛糸の蜘蛛。そして、落ち葉のこうもり。

楽しくみんなと一緒に作ったよ。

来年度の入園希望者を募っています。お近くに、まだ、幼稚園に通われていないお子様がおりましたらご紹介ください。